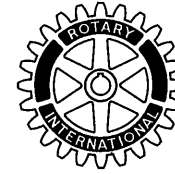


MY ROTARY LIFE



わたしのロータリー・ライフ

1970年から今日まで

Thoughtfulness of and helpfulness to others

He Profits Most Who Serves Best

Nothing but the Best

To dream a new dream

2010年7月

RI第2720地区

別府中央ロータリー・クラブ

鳴海淳郎

SHINICHI NARUMI

目次

はじめに … 1

別府ロータリー・クラブにおけるロータリー活動 … 3

別府中央ロータリー・クラブにおけるロータリー活動 … 7

おわりに … 17

.....
(付録) ロータリー探究…20

はじめに

ロータリー・クラブに入会して40年になります。これまで色々なことを経験してきましたが、年月を重ねて次のような心境になりました。

わたしはロータリーを信奉する

ロータリーの奉仕とは

“Thoughtfulness of and helpfulness to others”

「他人のことを思い、他人のために尽くす」… 思いやりの心
思いやりの心を人間のみならず、まわりの環境にも

その究極の目的は

“He Profits Most Who Serves Best”

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

最もよく奉仕するには

“Nothing but the best”

Nothing but the best の奉仕を考える

製造業の場合：これ以上良いものはつukれない

サービス業の場合：これ以上の良いサービスは出来ない

医師の場合：患者さんのために現時点で最善の医療を施す

そのためには

“To dream a new dream “

常に新しい夢を 夢みて

どうすれば他人のためになるか、まわりの環境に役立つか、
常に新しい視点より考え、これを実行に移す。

このような境地に至った動機は、わたしのロータリーの故郷である別府ロータリー・クラブに入会して、はじめての感動がきっかけでロータリーを知ることになり、色々な役職を果たしてきたことの積み重ねにあると思いますが、今、その思い出をつづってみたいと思います。

別府ロータリー・クラブにおけるロータリー活動

1970年9月25日、別府ロータリー・クラブに入会させていただきましたが、入会2年目のプログラム委員長をふり出しに、各委員長を次々に務めました。

『ロータリーの例会では地域社会の縮図がそこに再現される。即ち、業界の代表が互いに啓発されて高い境地を望み、学び得た高い境地をもって自己の職場、家族、社会を潤すもので、例会に欠席すると自己開発のチャンスを失うことになるが、これは自分の損失だけでなく、社会への責任も負わなくてはならない。』

これは1972年2月15日、日田市におけるIGF（現在のIntercity Meeting=IM）で、今は亡き薬師寺和寿地区ロータリー情報委員長（津久見RC）から聞いた言葉ですが、入会后間もない私はこの言葉に刺激されたことを思い出します。そして、この時の感動がきっかけでロータリーを更に知ることに努めました。

1972年9月8日、別府ロータリー・クラブ創立20周年記念式典において、その時の余興として初めて「黒田節」を踊ったことを思い出します。

丁度その頃、小堀憲助氏の指導によるロータリーの理論的研究会である千種会という勉強会が開かれており、ロータリーの好きな先輩ロータリアンと共に1973年4月28日より何回か勉強したことを思い出します。

1977～78年度（幹事を務める）

1977年7月から1年間幹事を務めました。幹事就任時挨拶の記録に最近目を通す機会があり、われながら痛感することがありましたので、皆さんにご披露してご参考に供したいと思います。

『大津パストガバナーの自論であるが、クラブ幹事の任務を考える場合、島津の紋章であるマルに十の字を思い浮かべてみるとよい。十の字の4つの端に会長、理事役員、委員会、会員を位置づけ、それらをマルで結ぶと、そのマルに十の字の中心に位置するのがクラブ幹事ということになる。このように幹事はクラブの中核となって会長に協力してクラブ管理に意を用い、理事役員、各委員会、会員との連絡協調をはかって奉仕活動がうまく行くように務め、一方、外部に対してはクラブの窓となってRIやガバナー事務所と連絡をとり、絶えずロータリーに関する情報をキャッチしてこれをクラブの組織に伝達する役目を果たさねばならない。』と言うのであります。

1978～79年度（交換学生の送り出しと受け入れ）

1978年7月より二度目の国際奉仕委員長を務めました。この年の8月に別府クラブから交換学生として選んだ田中秀明君（別府商業高校2年生）が渡米しました。

この田中君を選ぶ際、後にRI会長となられた当時の向笠パストガバナーと当時の国際観光会館にあったロータリー事務局で選考を行い、その場で即決したことを思い出します。

また、これと引き換えに米国・オックスフォード州よりボブ・マルソー君を受け入れました。（1978年8月19日）

1979～80年度（GSE地区委員として）

1979～80年度GSE地区委員を務めました。この間、1979年4月17

日より5月19日まで池田賢二君（別府・杉乃井ホテル）をGSEの一員としてアメリカ・バージニア州（RI第760地区）に送り出し、これと引き換えに1980年3月20日から4月21日まで、アメリカ・バージニア州よりGSEチーム一行6名を受け入れました。

1981～82年度（R情報委員長として）

ロータリー情報委員長を務めました。この間、新会員のためのロータリー情報集として、「ロータリー・クラブ入会のしおり」を作りました。これは米国カリフォルニア州ウェスト・チェスターRCが会員候補者の入会前オリエンテーションのためにつくられた「A Rotary "Flip Chart"」（ロータリアン誌1981年5月号掲載）を参考にして作ったもので、その後毎年度のロータリー情報委員長が多少の補足をしながら現在まで受け継がれています。

1986～87年度（会長として）

別府ロータリー・クラブ会長を務めました。この間、地域の人々にロータリーというものを知っていただくために「ロータリーは何をしているか」という小冊子を作り、各方面に配布しました。（1986年9月）

1987年4月、職業奉仕委員会の企画で、多数の会員の職業奉仕に対する考えと、その仕事ぶりに対する報告をまとめて「私の職業奉仕」を発行しました。

1987年5月、今年度の意義ある業績賞に選ばれる。

この1月末に提出した報告書「熱心なロータリアンであった故松本得一翁の意志とその業績」

その1. 財団法人得愛会、松本記念児童図書館「おじいさんの杜」の設立

その2. 別府ロータリー・クラブにおける松本ファンドの設立が本年度の「意義ある業績賞」に選ばれました。

1988年2月、幸運なことに、このロータリー年度の50回のクラブ例会に出席して行った会長の時間の内容をまとめて小冊子「**会長の時間**」を発行しました。

1987～88年度

再びロータリー情報委員長を務めましたが、この間、会員のロータリー理解度を試す目的で、小冊子「**ロータリー・テスト**」を作成しました。(1988年12月)

1988年6月

当時の堀田善久当地区ガバナーより、1987～88年度国際ロータリー第272地区において、別府ロータリー・クラブをホストとして結成しようとする新クラブ結成の特別代表に委嘱されました。

その後1988年7月1日、黒木健夫ガバナーより1988～89年度国際ロータリー第272地区特別代表を改めて委嘱され、同時に委嘱された宮本（別府北RC）・千寿（別府東RC）両特別代表補佐と共に1988年7月以降度々協議を重ね、新クラブ結成を目指しました。

以上、別府クラブ時代の思い出を述べましたが、今から考えてみても実に充実した18年間でした。別府中央クラブを設立して、既に20周年を迎えましたが、わたしのロータリーの故郷である別府ロータリー・クラブを忘れることはできません。

別府中央ロータリー・クラブにおけるロータリー

～ 新しいクラブをつくる ～

前述のように、別府市に4番目のロータリー・クラブをつくることになり、当時の故黒木ガバナーより特別代表に委嘱され（昭和63年7月1日）、宮本、千寿両特別代表補佐と共に、スポンサー・クラブである別府・別府北・別府東の3ロータリー・クラブの協力を得て、別府市全域を区域限界とする2階建てアディショナル・クラブ（別府中央ロータリー・クラブ）の設立に成功、1989年（平成元年）3月28日創立総会を開くことができました。

わたしは3月27日付で別府RCを退会して3月28日付で別府中央RCへ移籍し、そのチャーターメンバーとなり、そのうえ新クラブの会長になりました。

特別代表より新クラブの初代会長になったわたしは、すべては初めが肝腎と思い、とにかくロータリーの基本に忠実に「早くロータリーになじみ、ロータリーを身につけよう」をテーマに、新しいクラブづくりに全力を注ぎました。

即ち、毎例会の「**会長の時間**」には努めてロータリー情報を提供し、また、ロータリー情報委員会の名に於いて各例会毎にタイムリーなテーマをもとにした「**ロータリー用語の解説**」を用意し、これを各会員に配布しました。

そして、1年3ヶ月（1989年3月28日～1990年6月30日）にわたり、会長として100%クラブ例会に出席して行った『新しいクラブづくりの記録』をまとめて、小著「**私のロータリー・ノート**」を発行しました。

1991年3月26日 第102回 創立2周年記念例会 において、わたしの作詞による「別府中央ロータリー・クラブの歌」が発表されました。

別府中央RCの歌

別府中央RCの歌

作詞 嶋海彦郎
作曲 村津忠久

一、いで湯の町に 燃え立ちて
奉仕の理想 求めんと
努めて止まん 身は樂し

二、奉仕の夢は 紅葉谷
この手によつて 育てんと
共に励まん 身は樂し

三、あ、別府中央ロータリー
その名のもとに 親睦を
深めて集う 身は樂し
あ、ロータリー永遠に

(平成三年三月創刊)

1. いで湯のまちに 燃え立ちて ほろしのりそう もとめんと
2. 一仕のゆめは もみじだに この手によつて もとめんと

その後、「ロータリーと共に」を発行して1990年7月より1994年6月にいたる4年間のロータリー活動の記録をまとめました。

更に、1996年7月より大分県第三分区代理を務めることになり、1994年7月より1997年6月に至る3年間の記録をまとめて「ロータリーと私」を発行しました。

従って、「私のロータリー・ノート」、「ロータリーと共に」、「ロータリーと私」の3部作は、別府中央ロータリー・クラブ創立以来9

年にわたる私のクラブ・ライフのすべてです。

※これまで務めたロータリーの役職

- ・1970年 9月：別府ロータリー・クラブ入会、
- ・1986～87年度：別府ロータリー・クラブ会長
- ・1988～89年度：特別代表
- ・1989年 3月：別府中央ロータリー・クラブ創立会員
- ・1988～89年度：別府中央ロータリー・クラブ初代会長
- ・1989～90年度：別府中央ロータリー・クラブ初代会長
- ・1991～92年度：国際ロータリー第2720地区ロータリーの友地区委員
- ・1992～94年度：国際ロータリー第2720地区ロータリーの友地区委員
- ・1995～96年度：別府中央ロータリー・クラブ会長
- ・1996～97年度：国際ロータリー第2720地区 大分第三分区代理
- ・1998～99年度：国際ロータリー第2720地区 大分第三分区代理
- ・2000～01年度：国際ロータリー第2720地区ロータリーの友地区委員
- ・2002～03年度：国際ロータリー第2720地区ロータリーの友地区委員

※国際大会をはじめ、RI関係の会合出席

- ・1996年アジア地域大会（バンコク）・・・1996年10月25日～27日
- ・国際ロータリー2004年国際大会（関西）
- ・メジャー・ドナー午餐会

2001年11月30日：東京・高輪プリンス・ホテル

2002年11月29日：大阪・大阪リーガロイヤル・ホテル

2003年11月28日：東京・新高輪プリンス・ホテル

2004年11月26日：広島・リーガロイヤル・ホテル広島

2006年11月24日：岡山・グランビアホテル岡山

2007年11月21日：東京・ホテル グランパシフィック メリディアン

以上の出席により、「ロータリーの会議では、スケールが大きくなると、それなりの感動が得られる。」と一言を改めて痛感した次第です。

奉仕活動について

※ 職業奉仕を如何に展開してきたか

- 1) 「わたしの職業奉仕」…2004年10月2日RI第2720地区・職業奉仕セミナーのパネリストとして…ロータリー探究 No.164 わたしの職表奉仕(2004/10/1)で紹介
- 2) 皮膚科医としてロータリーに生きる…ロータリー探究No.143(2004/4/29)で紹介

※ クラブの奉仕プロジェクトへの参加

- ・もみじ谷植樹作業(平成2年11月4日開始)

※ 青少年への奉仕

- 1) 1997年2月、大分県第三分区のIMを開催するに当たり、「子どもに思いやりの心を育てるには」というテーマを掲げた「新世代フォーラム」で有意義なパネルディスカッションを行い、分区代理としての責任を果たしました。
- 2) また、1999年1月開催の大分県5分区合同のIMで、2回目の分区代理としてその一分科会を担当するにあたり、わたしは「子ども

に夢と感動を与えよう」をテーマのもと、「個人としてクラブとすることができる」ということで、多くの皆さんのご意見を聞くことができました。

- 3) また、わがクラブの創立10周年を記念して、明日の別府を担う少年少女のために、別府観光の父として著明な油屋熊八翁の生涯をわかりやすく紹介した「少年少女のための油屋熊八物語」を2000部発行して市内の小学校に配布し、学習資料として提供しました。(1999年3月28日)

4) 小著紹介

- ・「ロータリーと新世代への奉仕」…1996年9月発行
- ・「子供に夢と感動を与えよう」…1999年1月発行
- ・「少年少女のための油屋熊八物語」…1999年3月発行

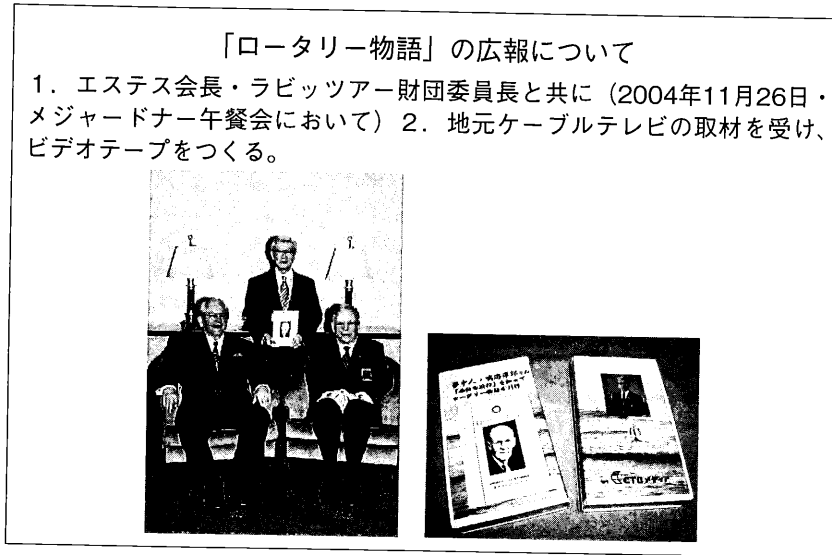
※ ロータリー情報並びに広報活動の展開

ロータリーのスポークス・パーソンとして、ロータリーを会員は勿論のこと、一般の人にもわかりやすく解説することに努めました。ロータリーをPRし、更にイメージアップすることにより、これが会員増強にもつながることになったからです。

1) ロータリー物語の発行

- ・初版 2000年1月23日発行
ロータリー理解推進月間を記念して2000部発行
- ・改訂版 2004年3月28日発行
ロータリー100周年を前に、当クラブ創立15周年を記念して2000部発行

- ・2004年5月6日、「ロータリー物語」刊行についてケーブルテレビCTBの取材を受け、これが10分ぐらいにまとめられ、12日、13日、14日と3日間にわたり放映されました。
- ・2004年11月26日・広島リーガロイヤルホテルで行われたメジャー・ドナー午餐会で、当時のエステスRI会長並びにラビツア財団管理委員長に小著をさし上げ、感謝されました。



2) その他ロータリーに関する小冊子の発行 : 下記の表に示す

3) ホームページ <http://www.narumi-clinc.jp>

- ・「ロータリー探究」開設（2001年8月1日）
 - ・開設後10年、更新415回（2010年7月8日現在）
- 以上を整理して巻末に付録として添付。
- ・ロータリー情報並びにロータリー広報の徹底

- ・毎例会において「ロータリー探究」のプリントアウトしたものを逐次会員に配布して解説。

4) わたしとロータリー雑誌とのかかわり

- ・鳴海クリニック・ホームページ～お知らせ欄 参照
- ・「ロータリー探究」No.370 わたしとロータリー雑誌とのかかわり（2009/4/19）
- ・小冊子：ロータリー雑誌と私（平成14年4月作成）

※ ロータリーに関する小冊子の発行

1)	ロータリークラブ入会のしおり	1981～82年度
2)	ロータリーは何をしているか	1986年9月
3)	ロータリーの魅力	1987年12月
4)	会長の時間	1988年2月
5)	ロータリー・テスト	1988年12月
6)	ロータリー・トピックス	1990年7月
7)	私のロータリー・ノート	1990年8月
8)	ロータリーと共に	1995年3月
9)	ロータリーと新世代への奉仕	1996年9月
10)	ロータリーと私	1997年11月
11)	"He Profits Most Who Serves Best"について思う	1998年7月
12)	子どもに夢と感動を与えよう	1999年1月
13)	ハーバート・J・テラーの「我が自叙伝」を読ん	1999年3月
14)	ロータリー物語	2000年1月
15)	ロータリー財団の父 アーチ C. クランフの人となり	2000年5月
16)	会員増強について考える	2000年5月
17)	ロータリー礼賛	2001年1月
18)	ロータリー雑誌と私	2002年4月
19)	ロータリー物語（改訂版）	2004年3月

※ ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付

ロータリアン個人では奉仕活動に限界がありますが、いかなる地域にあっても、どんなに小さいクラブでも、国際ロータリーというネットワークを利用すれば幾らでも道は開けますし、ロータリー財団という窓を通して会員一人一人の力を大きな力に結集させることができ、いささかでも世界の平和に役立つことが出来ます。

1) ロータリー財団への寄付

- ・ポール・ハリス・フェロー (1981年5月22日)
- ・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

第1回	1990年1月29日	第5回	1996年11月27日
第2回	1991年11月29日	第6回	1999年6月16日
第3回	1993年11月26日	第7回	1999年11月12日
第4回	1996年5月29日	第8回	2000年9月26日

- ・ベネファクター (1994年11月15日)
- ・メジャー・ドナー (2001年8月1日)

2) 米山記念奨学会への寄付

日本独自のロータリプログラムで、民間では最大の奨学団体。

日本のロータリアン一人一人の双肩にかかっています。

米山功労者： 第1回；1987年10月22日

第2回；1997年10月28日

※ 創立20周年記念行事について

わたしはその記念事業実行委員会委員長を務めました。これまでの経験を生かし、次のように、将来の別府に役立つことを考えました。

開催日：平成21年3月29日(日)

会場：ビーコンプラザ

1. 記念演奏会： 15:00～16:30
ビーコンプラザ・フィルハーモニアホール
2. 記念式典： 17:00～17:30
レセプション： 17:30～19:00
ビーコンプラザ・レセプションホール

《記念行事の趣旨》

地域社会のため、地域の人々と共に歩くロータリーの姿を、この行事を通じて別府市民にアピールすることになりました。

とくに、わがクラブが如何に別府のことを思い、別府の将来を考えてきたかを、この行事をきっかけに多くの別府市民に訴え、次世代を育むための一助にしたいと思いました。

1. 記念演奏会

とくに、別府の自然をうたった『混声合唱とピアノのための組曲・別府鶴見火山』では、来場の皆さんに多大の感動を与え、別府の更なるイメージアップにつながるものとなりました。

2. 別府もみじ谷20周年記念植樹(平成21年3月15日)

「湯の町ぐるみモミジの森づくり」運動として、1990年に始められた南立石字温水の谷(通称・別府もみじ谷)・・・阿蘇くじゅう国立公園の入口に位する広さ約30ヘクタールの谷で、別府市内を流れる朝見川の源流地域であり、大切な温泉の水源でもある地域・・・の植樹は、以後19年間継続し、今日までに8,442本を植樹しました。また年に2回の草刈り作業も3月と7月に実施していますが、今年は3月15日に「20周年記念植樹」を行いました。この30ヘクタールの谷全体がモミジで覆われたとき、その景観は日本一のものになると思われます。

3. 「少年少女のための油屋熊八物語」を2000部発行して、来場の皆さんに配布

これによって、別府観光の父・油屋熊八翁の心を現代の子ども達にも伝え、子どもにも夢と感動を与えて、別府の未来を築く人づくりに役立つことを祈った次第です。

おわりに

以上、わたしのこれまでのロータリー・ライフについて述べましたが、はじめにも申しましたように、いつの頃からかロータリー哲学にとりつかれました。

ここで再びはじめの表を掲げますと、最後の2つの言葉は、ロータリーの心を自分の職業に生かすために心がけているわたしの好きな言葉ですが、地域のために何か良いこと、新しいことができないか、常に新しい夢をえがきながら毎日の仕事にベストを尽くすよう心がけています。

ロータリーの奉仕とは

“Thoughtfulness of and helpfulness to others”

「他人のことを思い、他人のために尽くす」… 思いやりの心
思いやりの心を人間のみならず、まわりの環境にも

その究極の目的は

“He Profits Most Who Serves Best”

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

最もよく奉仕するには

“Nothing but the best”

Nothing but the best の奉仕を考える

製造業の場合：これ以上良いものはつukれない

サービス業の場合：これ以上の良いサービスは出来ない

医師の場合：患者さんのために現時点で最善の医療を施す

そのためには

“To dream a new dream “

常に新しい夢を 夢みて

どうすれば他人のためになるか、まわりの環境に役立つか、常に新しい視点より考え、これを実行に移す。

このようにすれば、年をとるひまもなく、この意味で“ロータリーは青春をつくる”ということができます。

また、その結果として世間の信用が得られ、これがいわゆるProfits (利得)につながり、ひいては地域の活性化に役立つのではないかと
思う次第です。

このようなことで、ロータリーに入会后40年、ロータリアンとして84歳を数える現在ですが、益々ロータリーに生甲斐を感じている
昨今です。

嘗て75歳の誕生日を迎えるにあたって小著「ロータリー礼賛」を
発行したことを思い出します。

これは、それまでの30年にわたる私のロータリー・ライフの中で、
とくに先輩ロータリアンやロータリーの雑誌より得られた感動や知識
を体験に基いてまとめたもので、将来への希望や願いが込められたも
のです。

ロータリー礼賛

1. ロータリーは心の友をつくる
2. ロータリーは人をつくる
3. ロータリーは信用をつくる
4. ロータリーは感動をつくる
5. ロータリーは夢をつくる
6. ロータリーは青春をつくる
7. ロータリーは平和をつくる

はじめに当たって

『寝ても覚めてもロータリー』とロータリーの魔力に取り付かれて30年が過ぎましたが、ロータリーの趣味と実益に生き、実益は信用から生れると説く昨今です。

ロータリーに入った以上は仕事がうまく行かなければなりませんし、逆に仕事がうまく行かなければロータリーに入った価値はないと思います。

はじめの厳しさをくぐり抜け、三度壁におち当たってはそれを乗り越え、やっと今の心境に達しました。

これからは今までの経験をもとに、更にロータリーを実践し、『ロータリー探究』をテーマに、一人のロータリアンとして、ロータリーの良さを皆さんに訴えて行きたいと思います。

1	ロータリーとは	2001/08/01
2	ロータリーの誕生と成長	2001/08/01
3	ロータリーの目的と使命	2001/08/08
4	ロータリーの仕組み	2001/08/15
5	ロータリーと地域社会	2001/08/22
6	急報	2001/08/28
7	今日のロータリー	2001/08/29
8	ロータリーに入ったからには	2001/09/05
9	ロータリーの効用	2001/09/12
10	今、ロータリーにとって一番大切なこと	2001/09/19
11	21世紀 ロータリーの課題 (I)	2001/09/26
12	21世紀 ロータリーの課題 (II)	2001/10/03
13	キング会長のロータリー哲学	2001/10/10

14	ハロルドT. トーマス を想う	2001/10/17
15	"Rotary has a rendezvous with destiny."	2001/10/24
16	再びロータリーの奉仕を考える	2001/10/31
17	ロータリーをエンジョイしましょう	2001/11/07
18	Diving into Rotary	2001/11/14
19	ロータリー財団月間に因んで	2001/11/21
20	ロータリー財団に寄せた心に残る言葉	2001/11/28
21	ポール・ハリス・フェローになることの意義	2001/12/05
22	ロータリーの発電機 (The dynamo of Rotary)	2001/12/12
23	地区大会を解剖する	2001/12/19
24	不況の時にこそロータリーを	2001/12/26
25	To dream a new dream	2002/01/09
26	ロータリーと東洋の心	2002/01/16
27	ロータリーの発祥に思う	2002/01/23
28	ロータリーの建設者：チェスリー・R・ペリー	2002/01/30
29	ロータリーの例会、その大切な役割	2002/02/06
30	クラブ奉仕とは～その究極の目的～	2002/02/13
31	ロータリー情報の意義	2002/02/20
32	ロータリーの広報と「ロータリー物語」の発行	2002/02/27
33	『バーモント』について思う	2002/03/06
34	職業奉仕を考える	2002/03/13
35	職業奉仕の沿革	2002/03/20
36	職業奉仕の基本	2002/03/27
37	職業奉仕に関係のある言葉、教訓	2002/04/03
38	ロータリアンとしての自覚と反省	2002/04/10
39	ロータリー雑誌と私 (I)	2002/04/17
40	ロータリー雑誌と私 (II)	2002/04/24
41	ロータリー述懐	2002/05/01
42	Rotary Wisdom	2002/05/08
43	ロータリーにおける社会奉仕概念の導入と展開	2002/05/15
44	社会奉仕活動に関する指針	2002/05/22
45	新世代に向けたロータリー活動の展開	2002/05/29

46	新世代のためのロータリー・プログラム	2002/06/05
47	インターアクトが生れた経緯	2002/06/12
48	青少年活動について思う	2002/06/19
49	なぜロータリーに？	2002/06/26
50	慈愛の種を播きましょう	2002/07/03
51	なぜ私はロータリアンになったか	2002/07/10
52	ラタクル会長の「草の根」哲学を探る	2002/07/17
53	『善意』について考える	2002/07/24
54	ホームページ開設一年を終るにあたって	2002/07/31
55	会員増強・クラブ拡大のために	2002/08/08
56	ロータリーにおける奉仕活動の特色	2002/08/15
57	会員増強の原点	2002/08/22
58	小さな巨人 (Hail the Diminutive Giant)	2002/08/29
59	私がロータリー財団に寄付したいと思う理由	2002/09/05
60	『ロータリーの友』について	2002/09/12
61	ロータリー・クラブ入会のメリット	2002/09/19
62	ロータリーの基本 (I)	2002/09/26
63	ロータリーの基本 (II)	2002/10/03
64	ロータリーの基本 (III)	2002/10/10
65	(財)ロータリー米山記念奨学会について	2002/10/17
66	奉仕の人・米山梅吉を想う	2002/10/24
67	ロータリーとインターネット	2002/10/31
68	ロータリーの組織について	2002/11/07
69	ロータリーのスポークス・パーソンとして	2002/11/14
70	ロータリー財団の最近の動向と改革 (I)	2002/11/21
71	ロータリー財団の最近の動向と改革 (II)	2002/11/28
72	ロータリーと世界の平和	2002/12/05
73	ロータリー・マジック (The magic of Rotary)	2002/12/12
74	地区大会より得られたもの	2002/12/19
75	クラブの特色を生かそう	2002/12/26
76	ロータリーの初期の歴史について思う	2003/01/09
77	「ロータリーの友」創刊50周年に思う	2003/01/16

78	岩切章太郎の心に響く言葉	2003/01/23
79	個人にとってロータリーの意味するもの	2003/01/29
80	ロータリーの創始者：ポール・ハリスの生い立ち	2003/02/06
81	再びロータリーについて考える	2003/02/13
82	ロータリー広報の思わぬ余得	2003/02/20
83	ロータリーにおける初めての感動に思う	2003/02/27
84	ローターアクト創設35周年にあたって	2003/03/06
85	Nothing but the best	2003/03/13
86	“He Profits Most Who Serves Best” について思う	2003/03/20
87	「四つのテスト」は如何にして生まれたか	2003/03/27
88	「ロータリーの雑誌月間」にあたって	2003/04/03
89	あたかも昼のあとに夜がつづくようにロータリーの実践がはじまる	2003/04/10
90	ロータリーの平和への誓いと平和運動の展開	2003/04/17
91	ロータリーと政治	2003/04/24
92	ロータリアンと核論議	2003/05/01
93	ロータリーにおけるポリオ撲滅運動の展開	2003/05/08
94	ロータリーと歌・音楽	2003/05/15
95	ロータリー用語を知るために	2003/05/22
96	『友』アンケート調査結果について思う	2003/05/29
97	SAA (会場監督) の役割	2003/06/05
98	ロータリーの主な業績	2003/06/12
99	ロータリーの善行：奉仕の一世紀	2003/06/20
100	ロータリー100年の歩み	2003/06/26
101	To know is to love	2003/07/03
102	Diving into Rotary	2003/07/10
103	Hakuna matata (ハクナ・マタタ)	2003/07/17
104	ジョナサンB.マジアベ新RI会長のロータリー哲学	2003/07/24
105	ロータリーの拡大増強について思う	2003/07/31
106	ロータリーの世界	2003/08/07
107	新世界の開拓者 ポール・ハリス	2003/08/14
108	ロータリーをもっと一人一人に、一人でも多くの人に	2003/08/21
109	青少年問題について考える	2003/08/28

110	「インターアクト」のしおり	2003/09/04
111	ロータリー・クラブ入会のしおり	2003/09/11
112	あるロータリアンの物語（1）	2003/09/18
113	あるロータリアンの物語（2）	2003/09/25
114	あるロータリアンの物語（3）	2003/10/02
115	あるロータリアンの物語（4）	2003/10/09
116	あるロータリアンの物語（5）	2003/10/16
117	再び職業奉仕について考える	2003/10/23
118	5人のロータリアンの物語を読んで	2003/10/30
119	ロータリー財団～その進展と輝かしい業績～	2003/11/06
120	ロータリー財団への寄付	2003/11/13
121	ロータリーが好きになる10カ条	2003/11/20
122	メジャー・ドナー感謝午餐会に出席して	2003/11/30
123	ロータリーを一般の人にわかりやすく	2003/12/07
124	ロータリーを一般の人にわかりやすく（2）	2003/12/14
125	ロータリーを一般の人にわかりやすく（3）	2003/12/21
126	ロータリーを一般の人にわかりやすく（4）	2003/12/28
127	ロータリーを一般の人にわかりやすく（5）	2004/01/07
128	ロータリーを一般の人にわかりやすく（6）	2004/01/15
129	ロータリーを一般の人にわかりやすく（7）	2004/01/22
130	ロータリーを一般の人にわかりやすく（8）	2004/01/29
131	『ロータリー物語』の再版について	2004/02/05
132	ロータリー家族	2004/02/12
133	ロータリーを学ぶ時間は未来への投資	2004/02/19
134	ロータリー・クラブに入会したからには	2004/02/26
135	もっとロータリーの心を	2004/03/04
136	国際大会について	2004/03/11
137	国際協議会について	2004/03/18
138	再び、ロータリーのスポークス・パーソンとして	2004/03/25
139	別府中央RC創立15周年にあたって～初代会長として～	2004/04/01
140	ロータリーの雑誌から得られるもの	2004/04/08
141	規定審議会について	2004/04/15

142	ロータリー広報の一断面	2004/04/22
143	皮膚科医としてロータリーに生きる	2004/04/29
144	ロータリーの今後は組織的發展と共に精神的發展にある	2004/05/06
145	A Century of Service（奉仕の一世紀）	2004/05/13
146	ロータリーから得られた私の好きな言葉	2004/05/20
147	第95回国際ロータリー年次大会に出席して	2004/05/30
148	あたかも昼のあとに夜がつづくようにロータリーの実践がはじまる	2004/06/06
149	「ロータリー物語」刊行とテレビ取材	2004/06/13
150	手続要覧について	2004/06/20
151	公式名簿について	2004/06/27
152	ロータリーの親睦について	2004/07/04
153	ロータリー・ライフにおける感動の体験	2004/07/11
154	エステスRI会長が強調する4つの奉仕	2004/07/18
155	RIテーマ（Rotary International Theme）について	2004/07/25
156	ホームページ開設3周年にあたって	2004/08/01
157	ロータリー広報の貴重なある体験	2004/08/08
158	日本のロータリー	2004/08/15
159	民間最大の奨学事業・米山奨学会	2004/08/22
160	変貌するロータリー	2004/08/29
161	ロータリーとIT化の流れについて	2004/09/05
162	子供に夢と感動を与えよう	2004/09/12
163	ロータリーの奉仕、個人としてできることは	2004/09/19
164	わたしの職業奉仕	2004/10/01
165	『奉仕の理想』について	2004/10/10
166	『職業活動表彰』について思う	2004/10/17
167	感動のサービス	2004/10/24
168	「思いやり」について	2004/10/31
169	Every Rotarian, Every Year	2004/11/07
170	Dynamic Words of Rotary（ロータリーを一語で表わせば）	2004/11/14
171	ロータリアンとバッジ	2004/11/21
172	ロータリーの引力	2004/11/28
173	再び会員増強について思う	2004/12/05

174	ロータリーのフェローシップについて	2004/12/12
175	ロータリー章典について	2004/12/19
176	再び、ロータリー広報の大切な意義について	2004/12/26
177	もっとロータリーを知り、ロータリーを分ち合おう	2005/01/01
178	ロータリーは何をしているか (I)	2005/01/08
179	ロータリーは何をしているか (II)	2005/01/15
180	ロータリーは何をしているか (III)	2005/01/22
181	ロータリーは何をしているか (IV)	2005/01/29
182	ロータリーとは	2005/02/05
183	魅力あるクラブづくり	2005/02/12
184	ロータリーの誕生日をバースデー ケーキで祝う	2005/02/19
185	国際ロータリー ダウンロード センター	2005/02/26
186	ロータリー・クラブ入会について	2005/03/05
187	ロータリーと女性会員	2005/03/12
188	親睦 と 奉仕	2005/03/19
189	ロータリーをあまり難しくしないで	2005/03/26
190	クラブ活動と自分の職業	2005/04/02
191	最近のロータリー	2005/04/10
192	今、ロータリアンとして一番大切なことは	2005/04/17
193	職業奉仕の主体はあくまでも会員個人	2005/04/24
194	ガバナー・ノミニーの選出について	2005/05/01
195	「思いやりの心」をまわりの環境にも	2005/05/08
196	最近の企業不祥事について思う	2005/05/15
197	現代の世相とロータリー	2005/05/22
198	ロータリアンとして地域の活性化に役立つ3か条	2005/05/29
199	再び “He Profits Most Who Serves Best” について思う	2005/06/05
200	ロータリーのイメージアップについて	2005/06/12
201	ロータリー情報の意義について	2005/06/26
202	2005~06年度 国際ロータリー テーマについて	2005/07/03
203	ロータリーの特別行事 (Special Observances) について	2005/07/10
204	7月は識字率向上月間です	2005/07/17
205	ロータリーにおける四大奉仕について	2005/07/24

206	クラブ奉仕について	2005/07/31
207	8月は会員増強月間です	2005/08/07
208	職業奉仕について	2005/08/14
209	社会奉仕について	2005/08/21
210	国際奉仕について	2005/08/28
211	9月は新世代のための月間です	2005/09/04
212	Birth of An Idea (職業奉仕はいかにして生まれたか)	2005/09/11
213	わたしのロータリー・ライフ35年	2005/09/18
214	今月は職業奉仕月間です	2005/10/02
215	今月は米山月間です	2005/10/09
216	国際ロータリー長期計画について	2005/10/16
217	世界社会奉仕 (WCS) について	2005/10/23
218	世界インターアクト週間 (World Interact Week) にあたって	2005/11/03
219	ロータリー財団月間 (The Rotary Foundation Month) にあたって	2005/11/13
220	ロータリー財団の輝かしい業績	2005/11/20
221	年次総会 (クラブ) Annual Meeting (Club) について	2005/11/27
222	家族月間 (Family Month) にあたって	2005/12/04
223	ロータリーの定款と細則	2005/12/11
224	ロータリーの会員制度	2005/12/18
225	ロータリー・クラブの管理主体	2005/12/25
226	ロータリー理解推進月間にあたって	2006/01/08
227	クラブ・リーダーシップ・プランについて	2006/01/15
228	“ロータリーに少し失望しています”	2006/01/22
229	『ポール・ハリス 語録』について	2006/01/29
230	世界理解月間にあたって	2006/02/05
231	論語と算盤	2006/02/12
232	最もよい奉仕とは	2006/02/19
233	最近の国際ロータリー理事会決定事項より	2006/02/26
234	世界ローターアクト週間にあたって	2006/03/12
235	ロータリーの現状について思う	2006/03/23
236	雑誌月間 (Magazine Month) にあたって	2006/04/06
237	ロータリー・Eラーニング・センターについて	2006/04/13

238	地区協議会とそのあり方	2006/04/16
239	会長エレクト研修セミナー Presidents-elect Training Seminars (PETS)	2006/04/23
240	ロータリアン必携について	2006/04/30
241	ロータリーの偉大な2つの資産	2006/05/07
242	ロータリー・ワールド紙 (Rotary World) について	2006/05/14
243	平和の担い手 ロータリー世界平和フェロー	2006/05/21
244	別府中央ロータリー・クラブが創立以来取り組んでいる「もみじ谷植樹」の意義について	2006/05/28
245	ロータリー親睦活動月間にあたって	2006/06/08
246	今、とくにロータリーに望むこと	2006/06/18
247	別府中央ロータリークラブの実績について思う	2006/06/29
248	Lead the Way 率先しよう	2006/07/09
249	わたしの好きなロータリー哲学	2006/07/16
250	ロータリーに入って良かったと思うこと	2006/07/23
251	ホームページ開設5周年を迎えて	2006/07/30
252	8月は会員増強および拡大月間	2006/08/06
253	ウェブ上のロータリー情報源	2006/08/17
254	クラブづくりの原点	2006/08/25
255	ロータリーについて思う	2006/09/03
256	再びクラブ・リーダーシップ・プランについて	2006/09/10
257	新世代のための月間	2006/09/17
258	成功の起源 (The genesis of success)	2006/09/24
259	自分の職業にロータリーを生かそう	2006/10/01
260	米山月間にあたって	2006/10/09
261	ロータリーで言う奉仕とは	2006/10/15
262	職業奉仕活動について	2006/10/22
263	ロータリー財団月間に因んで	2006/11/03
264	ロータリー財団を一層理解するために	2006/11/12
265	「Thoughtfulness of and helpfulness to others」について	2006/11/19
266	わたしはロータリーを信奉する	2006/11/26
267	メジャー・ドナー午餐会に出席して	2006/12/03
268	家族月間にあたって	2006/12/10
269	効果的なクラブの管理運営を求めて	2006/12/24

270	2007年の年頭にあたって	2007/01/01
271	ロータリーの広報と私	2007/01/07
272	別府に生まれ 別府に生きる 一ロータリアンの生き方	2007/01/17
273	再びロータリー章典について	2007/01/28
274	ロータリー国際理解と紛争解決	2007/02/07
275	クラブ協議会 (Club Assembly) について	2007/02/15
276	2007～08ロータリー年度のテーマ発表	2007/02/25
277	Rotary: "The Best is Yet to be"! (ロータリー未だし)	2007/03/04
278	世界を変える力を蓄える	2007/03/11
279	識字率向上月間にあたって	2007/03/18
280	ロータリーのプログラムについて	2007/03/25
281	奉仕の機会に関する項目について	2007/04/01
282	「ロータリーの友」にみられるロータリー情報の展開	2007/04/08
283	わたしとロータリー雑誌とのかかわり	2007/04/15
284	環境問題を考える	2007/04/22
285	ロータリーと水保全	2007/05/05
286	Think Global, Act Local	2007/05/13
287	クラブ理事会について	2007/05/20
288	例会の変更と取消について	2007/05/27
289	価値ある例会を求めて	2007/06/03
290	ロータリー親睦活動 (Rotary Fellowships) について	2007/06/10
291	Three pillars of progress (向上への3つの柱)	2007/06/17
292	ロータリー情報について	2007/06/24
293	ロータリーを分かちあう (Sharing Rotary)	2007/07/08
294	再びロータリー情報の重要性について	2007/07/15
295	ロータリーを早く自分のものに	2007/07/22
296	ロータリーと地域の活性化	2007/07/29
297	ホームページ開設6周年を迎えて	2007/08/01
298	再びロータリー・ライフにおける感動について思う	2007/08/09
299	退会防止について思う	2007/08/15
300	「ロータリー探究」の更新300回を記念して	2007/08/23
301	水資源を大切に	2007/08/30

302	新世代のための月間にあたって	2007/09/09
303	皮膚科医として、この道50有余年	2007/09/16
304	「職業奉仕」について今一度考える	2007/09/23
305	再びガバナー・ノミニーの選出について	2007/10/04
306	クラブ・リーダーシップ・プランの問題点	2007/10/14
307	クラブ活性化の探求	2007/10/21
308	ロータリーの奉仕は会員一人一人が大切	2007/10/28
309	伝教大師の教え	2007/11/03
310	ロータリー財団の父 アーチC.クランプの人となり	2007/11/11
311	水サミットを迎えるにあたって	2007/11/18
312	ロバートS.スコット ロータリー財団管理委員長の固い決意	2007/11/29
313	国際ロータリーの使命とビジョン	2007/12/09
314	会員となることの恩典	2007/12/16
315	ロータリー財団の使命とプログラム	2007/12/23
316	ロータリーの心を一般の人にも	2008/01/01
317	国際ロータリーのプログラム	2008/01/06
318	他団体と協力するロータリーの活動	2008/01/13
319	ロータリーの未来を描く長期計画	2008/01/20
320	ロータリー情報、及び広報において留意すべきこと	2008/01/31
321	ロータリアンの奉仕	2008/02/07
322	ロータリーを身につけるには	2008/02/14
323	一人のロータリアンとして如何に奉仕するか	2008/02/21
324	ロータリアンとして奉仕する人へのアドバイス	2008/02/28
325	今こそロータリーを感じる時	2008/03/06
326	ロータリーの広報活動	2008/03/13
327	クラブ創立記念日に思う	2008/03/23
328	ロータリーにおけるコミュニケーション	2008/04/03
329	ロータリー礼賛	2008/04/10
330	ロータリーは心の友をつくる	2008/04/17
331	ロータリーは人をつくる	2008/04/24
332	ロータリーは信用をつくる	2008/05/01
333	ロータリーは感動をつくる	2008/05/08

334	ロータリーは夢をつくる	2008/05/15
335	ロータリーは青春をつくる	2008/05/22
336	ロータリーは平和をつくる	2008/05/29
337	最近とくに思うこと	2008/06/05
338	例会出席の意義	2008/06/12
339	クラブ委員会活動について	2008/06/19
340	四大奉仕について	2008/06/29
341	クラブ幹事の任務	2008/07/06
342	一粒の雨一粒の種	2008/07/13
343	クラブ奉仕委員会の任務	2008/07/20
344	職業奉仕の重要性と職業奉仕委員会の任務	2008/07/27
345	社会奉仕の発展と社会奉仕委員会の任務	2008/08/03
346	国際奉仕の展開と国際奉仕委員会の任務	2008/08/10
347	ホームページ開設7周年にあたって	2008/08/17
348	わたしのロータリー・ライフ (その1)	2008/08/31
349	わたしのロータリー・ライフ (その2)	2008/09/14
350	2008～09年度 RIテーマのロゴマークについて思う	2008/09/21
351	ロータリーが好きになるには	2008/09/28
352	「ロータリーの基本知識」について	2008/10/10
353	職業奉仕、それはロータリーならではの奉仕	2008/10/19
354	より良いロータリー情報を求めて	2008/10/26
355	ロータリーの1億ドルのチャレンジ	2008/11/09
356	Global Outlook	2008/11/16
357	ロータリー財団の未来の夢	2008/11/28
358	Every Rotarian, Every Year	2008/12/07
359	わがクラブの創立20周年に向けて	2008/12/20
360	2009年の新春を迎えて	2009/01/01
361	わたしは如何にロータリーを実践しているか	2009/01/08
362	ロータリー・ライフにおける感動の意義	2009/01/15
363	ロータリーの良き親睦 (Fellowship) を求めて	2009/01/25
364	クラブ奉仕でロータリーを身につけよう	2009/02/01
365	再び職業奉仕の重要性について	2009/02/12

366	ロータリーの社会奉仕とその実践について	2009/02/19
367	国際奉仕と、その実践について	2009/03/01
368	識字率の向上	2009/03/12
369	ロータリーの雑誌月間に因んで	2009/04/05
370	わたしとロータリー雑誌とのかかわり	2009/04/19
371	わがクラブの創立20周年を終えて	2009/04/26
372	ロータリーについてもっと知ろう	2009/05/03
373	改めてロータリーの発祥と初期の歴史を探る	2009/05/10
374	ロータリーにおける奉仕理念の変遷	2009/05/17
375	真のロータリアンとして生きるには	2009/05/31
376	例会出席について思う	2009/06/07
377	例会プログラムについて	2009/06/21
378	SAVE THE FUTURE	2009/06/28
379	良いクラブの設計図	2009/07/05
380	ロータリーの会合について	2009/07/12
381	家庭集会を振り返る	2009/07/19
382	再び、ロータリーとは	2009/07/26
383	ロータリーの力	2009/08/02
384	ホームページ開設8周年にあたって	2009/08/20
385	わがクラブの実績と誇り	2009/08/30
386	新世代への奉仕を推進しよう	2009/09/06
387	改めて、2009-10年度国際ロータリーのテーマについて思う	2009/09/13
388	ロータリー・クラブ入会のしおり	2009/09/20
389	わたしがロータリー情報に励んでいる理由	2009/09/27
390	ハーバート・テラーの生涯	2009/10/08
391	職業奉仕に対するわたしの信条	2009/10/18
392	ロータリーと企業	2009/11/01
393	ロータリー探究の更新を休んだおわび	2009/11/21
394	米山記念奨学事業『豆辞典』発行について	2009/11/28
395	ロータリー財団のわかりやすいリーフレットと、ロータリーに貢献する「ロータリーカード」	2009/12/06
396	水と衛生	2009/12/13
397	ロータリーの女性会員とその歩み	2009/12/23

398	2010年の年頭にあたって	2010/01/01
399	2009年におけるロータリーのトップニュース	2010/01/11
400	一人ひとりが実践しよう：会員の推薦と維持	2010/01/21
401	2010～11年度RIテーマは「地域を育み、大陸をつなぐ」	2010/01/31
402	歴史に残る1ページ：ロータリーの105周年	2010/02/11
403	平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター	2010/02/21
404	ロータリーをもっと簡潔にわかりやすく	2010/02/28
405	ロータリー財団について一層の理解を	2010/03/07
406	「スマイルボックス」について	2010/03/14
407	わがクラブの歴史を振りかえる	2010/03/25
408	ロータリー情報の重要性を強く訴える	2010/04/08
409	「ロータリーの誕生について」の見解を正す	2010/04/18
410	ロータリーを如何に実践するか	2010/04/29
411	改めて職業奉仕のルーツを探る	2010/05/20
412	最近のロータリーを憂う	2010/05/30
413	ロータリーの特別月間 (Special Months of Rotary) について	2010/06/13
414	新会員のために～ロータリーを知り、ロータリーが好きになる具体的方法～	2010/06/30
415	今のわたしにとって、ロータリー哲学は唯一の生きる力	2010/07/08

——— 著 者 略 歴 ———

鳴海淳郎 (なるみじゅんろう)

1926年大分県別府市生れ。1951年九州大学医学部卒業。1953年東京通信病院皮膚科勤務。1959年東京大学より医学博士。その後、群馬大学医学部皮膚科助教授、東京皮膚科診療所長および全国理容学園中央高等理容学校講師を経て1968年郷里別府市に開業。現在、医療法人社団鳴海クリニック（皮膚科・アレルギー科）理事長兼院長。日本皮膚科学会功労会員。著書に『理容皮膚科学』『皮膚－この大切な器官』『お化粧品と皮膚』『皮膚と「こころ」』『スキンケアのために』『温泉と皮膚』『皮膚科診療のために』などがある。

わたしのロータリー・ライフ

発行日 平成22年7月29日

著 者 鳴 海 淳 郎

住 所 〒874-0943 別府市楠町14-8

電 話 0977-23-5841

U R L <http://www.narumi-clinic.jp>

印 刷 株式会社クリエイツ

住 所 〒874-0022 別府市亀川東町4-20

電 話 0977-66-3676